

ゲノム情報を利用した大豆育種素材開発の支援

農研機構 次世代作物開発センター、大豆課題の全機関



次世代作物開発センターでは、気候変動プロに参加している全国の試験研究機関から送られてくるダイズの葉や豆からDNAを抽出し、DNAマーカーで遺伝子型を調べ、そのデータを送り返します。

気候変動で増えつつある干ばつや湿害、病虫害に強い遺伝子を検出します。

全国のダイズ試験研究機関の支援

次世代作物開発センターは、気候変動による問題が生じているいろいろな性質の遺伝解析の支援をしています。

- ・ 干ばつに強い
- ・ 収穫時に緑が残らない(豆が汚れず商品価値が保たれる)
- ・ 開花期に畑が水浸しになっても枯れない
- ・ 種まき後に冠水しても発芽できる
- ・ 紫斑病に強く、豆が紫に着色しない
- ・ 茎疫病に強く、枯れない
- ・ 黒根腐病に強く、枯れない



豆を削って...



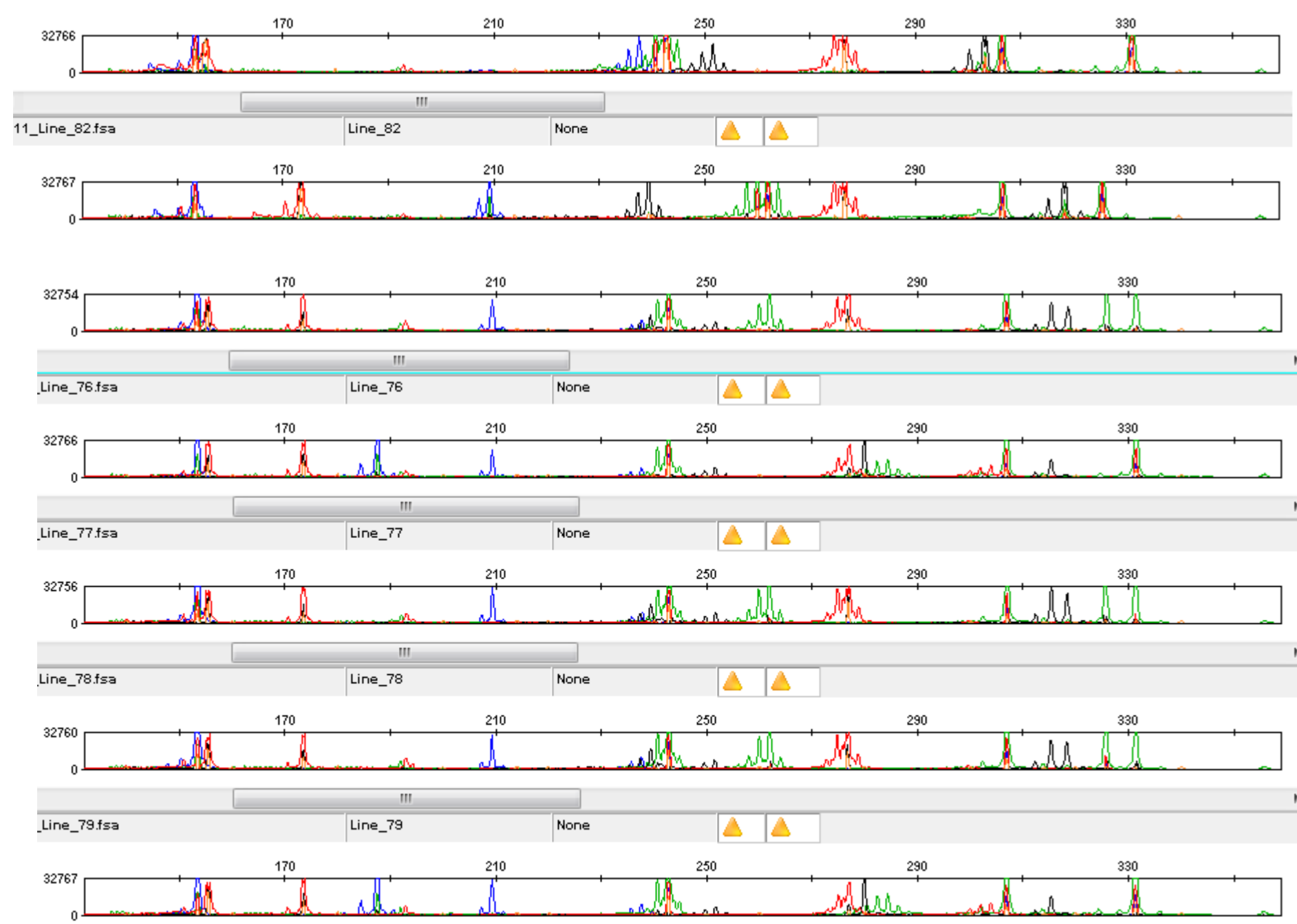
DNA抽出



PCR



シーケンサーにかけ
遺伝子型判定



大豆シストセンチュウ



茎疫病



葉焼病

● 普及・社会実装への道筋

- 育種現場でどの植物が病気や害虫に強いのか、DNAマーカーを用いて判定することで、全国の大豆育種を支援しています。